

当院受診の患者さんへ

当科では子宮頸部異形成に対して腹腔鏡下子宮全摘出術あるいはロボット支援下子宮全摘出術を受けた患者さんのデータを後方視的に検討しています。

本研究では2018年1月から2021年1月までに当科で子宮頸部異形成に対して腹腔鏡下子宮全摘出術あるいはロボット支援下子宮全摘出術を受けた患者さんを対象とします。手術で摘出した子宮は病理診断(顕微鏡検査)をおこなっています。この研究では腹腔鏡下子宮全摘出術やロボット支援下子宮全摘出術において使用する器具や操作が、病理診断におよぼす影響を調査します(正確な顕微鏡検査を行いやすい標本かどうかを調べます)。もし病理診断に影響を及ぼすような手術操作や器具があれば、より良い方法の開発等に役立つ可能性があります。診療録から臨床情報や手術中の所見等のデータを抽出し、病理組織標本(プレパラート)を見直して検討を加えます。その結果を論文で報告します。このデータを利用した研究計画は倫理委員会*が科学的倫理的に適切な計画であるかどうかを公正に審査しています。皆様方の診療データは匿名化しておりますので対象者が特定される個人情報は一切使用いたしません。個人情報の安全管理と保護には万全を期しますので、どうかこの研究へのご理解をお願いいたします。

なおこの研究に診療データを提供したくない方、またはこの研究の実施方法や内容について詳しくお知りになりたい方は、お手数ですがスタッフまでご連絡ください。ご協力いただけない場合でも当院での診療に関して不利益をこうむることは一切ありませんので、どうぞご安心ください。

*「倫理委員会」とは、その医学研究が科学的倫理的に問題がないかどうかを公正に審議する委員会で、委員には医学・医療の専門家等の自然科学の有識者、倫理学・法律学の専門家等の人文・社会学の有識者、研究対象者の観点も含めて一般の立場から意見を述べることのできる者、倫理委員会の設置者の所属機関に所属しない者などが含まれています。

福岡赤十字病院 産婦人科 西田眞
電話番号 0570-03-1211(病院代表)